

発行所〓社会通信社 発行人〓滝野 忠

ホームページ <http://shakaitsushin.cool.coocan.jp/> e-mail: [shakaitsushin@nifty.com](mailto:shakaitsushin@nifty.com)

東京都渋谷区本町六丁目二八―二一九〇四 電話・FAX(03)3299―5367

郵便振替〓〇〇一〇〇―九一五八四三一 労金〓中央労金本店No.1154163

〈もくじ〉

■巻頭言■  
労働者協同組合と社会主義政党 滝野 忠：2

現情勢の特徴について (一) 伊勢 太郎：3

恐怖政治と恐怖管理 蓑輪 泰臣：5

―新幹線「トイレ事件」―

運転開始から40年超の 原野人：10

美浜原発3号機再稼働へ

日本初の老朽原発再稼働強行・美浜3号機

命の発露 6・23美浜現地緊急全国集会 井沢 清：11

―福島事故を見よ！何も解決していない！―

アメリカ合衆国守備の東洋の盾になれ！ 稲村 守：12

オリエントシールド21強行

―あいば野で迫撃砲がまたもや演習場外に飛来―

◇信州松本通信◇ 中澤 秀行：13

―マルクスの「告白」より

―好きなヒロイン、グレートヒエンによる音楽散歩―

読者からのおたより …………… 16

# 旬刊社会通信

NO.1341 二〇二一年八月一日号

二〇二一年八月一日発行  
(毎月一日・二五日二回発行)

## 労働者協同組合と社会主義政党

「新自由主義」は腐敗と反動の独占資本の自由競争である。独占資本は特別利潤を求め、ブルドーザーのように突き進む。強いものはますます強く大きくなる、弱いものは踏みにじられ蹴倒され、消滅させられる。マルクスが明らかにした資本主義発展の一般的法則は螺旋状的に強められ発現した。搾取と抑圧の度は高くなる。貧富の差もますます強くなる。

資本主義という経済生産関係への批判も強くなる。資本主義ではない社会を求める声は大きくなる。権力者のごく一部、自民批判にやかましい野党の面々、階級対立をこえる新しい資本主義社会を夢想する小ブルインテリたちは、労働者協同組合法を超党派でつくった、進歩的であることを自称する組織や個人は労働者協同組合を悪を退治する魔法の杖であるかのように宣伝する。労働者協同組合は「労働者を人間らしく、みんなが仲よく、資本家と労働者の対立のない働き方をつくる」と。

マルクス主義者は社会の根本矛盾を私的所有、商品生産に求める。心優しい社会運動家は私的所有をそのままにして分配のあり方の変更に求める。私有制度下の資本主義では、新しくつくられた富は全部資本家階級が懐にする。これが社会法則だ。富の再分配に社会法則はない。力関係がすべてを決める。

新社会党の綱領（21世紀宣言）は社会主義政党であることを定める、社会主義政党は労働者協同組合に原則的にどのような態度をとるべきか。新社会党は「ワーケット」という消費協同組合をつくっている。発展しているとはいいがたい。新たに労働者協同組合をつくり、発展させることが、社会進歩の一步とする主張も少なくない。

労働者協同組合の歴史はふるい。資本主義の発展とともにある。理由は簡単、労働者協同組合はまず中間商人による搾取の幅をちぢめる、したがって商品提供者の経営（生産協同組合であれ消費協同組合であれ）に働いている労働者の労働条件にいい影響あたえる。こうして労働者階級の状態を改善する。労働運動は、資本の介入、攻勢、思想攻撃等によって今眠らされている。労働運動が高揚した時、労働者協同組合はストライキや政治的迫害のとき労働者を支援する。こうして労働者階級の経済的・政治的大衆闘争にとって大きな意義をもつ。

社会主義は私的所有の廃棄、生産手段の国有化である。生産手段が資本家階級の手にあり、収奪されず協同組合が競争の諸条件にさらされている場合、ブルジョア的な企業経営に退化する傾向がある。たとえば「労働者のため」の銀行、労働金庫がそうである。

さらに、協同組合は、労働組合のように資本と直接たたかう組織ではない。しかし、社会問題を解決するかのような幻想を生みやすい。

社会主義者と協同組合との関係は、まず協同組合に参加し、そしてその発展を促進すること、ついでに協同組合内で社会主義を宣伝し、労働者大衆のあいだでの階級闘争と社会主義の思想の普及を助けること、そうしたなかで協同組合と社会主義政党とのあいだに有機的な結びつきをつくり、強めることであろう。

（滝野 忠）

## 現情勢の特徴について (一)

### 「転向」

科学的社会主義の古典を学習する組織・個人は少なくなった。科学的社会主義を党の世界観とするのは、日本共産党と新社会党である。共産党はマルクスの未来社会、つまり社会主義・共産主義を口ではいう。しかし、「飛躍」を認めない。共産党のいう共産主義は資本主義の延長上に生まれくるものであるらしい。大昔のベルンシュタイン流の修正主義である。

新社会党はりっぱな綱領をもつ。その綱領を現状に適応し、生かすことを放棄したかのようなのである。重苦しい情勢、労働運動等の運動の停滞が意気消沈、マルクス主義への裏切り、つまりこれまでの闘争方法を放棄することによって、右にすり寄る傾向である。

貧乏人―搾取される者と金持ち―搾取する者との階級対立を放り投げたB I、「普遍主義」である。党中央はマルクスやエンゲルス、あるいは階級対立。階級闘争という言葉を使うだろう。目的は口先きだけの空文句、現場党員をたぶらかすためである。ごまかされてはいけない。

### 日本の政党

こんな情勢下、科学的社会主義の古典を学習する組織・個人は生まれである。共産党は『新版 資本論』(全十二巻)を完結させ、『資本論』学習を呼びかけ宣伝する。いいこと、すばらしいことである。科学的社会主義の古典の学習は、労働者階級としてのももの見方・考え方をじっくり学び考え、科学的社会主義の世界観を身につけ、情勢を分析し実践指針を身につけることである。

B Iや普遍主義を主張するバカたれば、政府・財界、彼らの茶坊主、そして与党・野党のすべてはB Iを主張するようになった、おれたちの主張(政策)の正しさを示すと、頓珍漢(とんちんかん)な評価をし悦に入る。ちなみに、頓とは「とんま」、漢とは「言ったりしたりすることが見当違いなこと」である。

B Iにみられるばらまき政策は組織が小さいかない小政党、国会に議席をもちたいとする無政府主義者、組織はきらい規律もきらいの小ブル・インテリが叫ぶ。票になると思えばどんな政策でも支離滅裂に主張するれいわ、維新などである。きつくいえば、新社会党はこんな無政府主義の党に転落したともいえる。

「立憲」、なんと時代錯誤な用語であろうか。枝野君の主張に目をとおしていけば、「立憲」とは憲法を守る・擁護する、民主主義を大切にすることだけのことだ。憲法が定める民主主義はブルジョア民主主義、ブルジョア民主主義を歴史的に封建勢力から奪いとった、産業資本家、知識人―弁護士、医師、芸術家等―は民主主義を押し進める能力を失った。彼らは労働者階級の進出に恐怖する。大きな情勢変化の時には資本家階級にすり寄っていく。

立憲の各級議員は議員たり続けたい、彼らの多くは小ブル出身者だ。組織といえれば親分の国会議員と後援会くらい、組織はない、小ブルは自由をなによりも好み、組織と規律をさらう。しかし、議員ではあり続けたいと願望する。その結果「渡り鳥」である。立憲は民主時代、消費税導入を自民と談合し決めた。ところが、今は枝野君ま

で「5%減税」をいう。B Iのようなばらまきが実現できるとは考えてしまい。票が「少し」でも入ると考える情勢になれば、平気で「おれたちはB I推進」とうそをつく。

自民や独占資本、彼らの「政策」はうわついでない。「コロナ」は世界恐慌の可能性を生む。恐慌、経済の崩壊を防ぐ、それには失業者を出さないことと、政府・権力が必要と考える範囲で金をばらまく。自民そして権力者の考えは「多様」である。しかし、ばらまきで国民生活を守り、経済社会・政治的危機をなげなんでも防ぐは共通する。彼らは権力を守るためにはなんでもする。

### 唯物史観

レーニンを読み直している。レーニンのマルクス主義理解は全集一、二巻のナロードニキ批判にすでにみえる。『資本論』の第23章、『剰余価値学説史』にある地代論を読みこなし、ナロードニキとの「ロシアにおける資本主義の発展と労働者階級ロシアにおける民主主義革命の形態」を中心とする論争である。

レーニンは、実践戦術への「導きの糸」である唯物論的歴史観（唯物史観）を駆使し、ロシア革命、革命の発展、継続を指導した、レーニンの著書は、ロシア革命の成功、発展、継続そのものである。

レーニンは考える。情勢はどうあるか。革命期か後退期か。その中の社会主義政党的任務は、革命への戦術か、高揚期への改良の戦術か。だれがになう。社会革命の主体は労働者階級、情勢に応じた労働者階級の成長への成長をはかることが社会主義政党的任務、労働者に近づき、活動し、社会主義の意義を植えつける。さらに、運動の形態だ。運動のかたちは、情勢、味方の力、彼我の力関係で姿を変える。

今の日本の情勢でいえば、国民大衆は眠らされており、自民は全ブルジョアジーの支持をもち、公明は小商工業者を組織する、地方議員は3千、機関誌は日刊30万、最近ゆらぎが伝えられる。しかし、公明は創価学会を基盤とする宗教党。宗派闘争は分裂を引き起こす。宗教政党的必然だ。しかし、公明は「現世の利益」といっしょになった。自民とは離れられぬ。当面、物的利益が公明を規律する。

### 反革命

レーニンは1905年革命、その後の蜂起、反革命クーデター等の歴史の変化・発展のなかで、ロシア革命の実現を確信していた。革命が完徹されるかは疑問をもった。ロシアはヨーロッパでもっとも遅れた資本主義国、農民が90%にもなり、産業労働者は少ない。こんな国での社会主義革命は、どのような状況下で完徹できるか。ヨーロッパの労働者の援助（社会主義革命）があつてこそと。

この「テーゼ」をはっきり示したのは、1919年11月の『プロレタリアートの独裁の時期における政治と経済』である。ここに、ロシア革命から約80年後のソビエト社会主義国家の崩壊の客観的・主観的条件がこう示されている。

【社会主義とは、階級をなくすことである。プロレタリアートの独裁は、これをなくすために、できることはなんでもやった。だが、階級を一举になくすことはできない。

そして、階級は、プロレタリアートの独裁の時期を通じてのこつており、また今後ものこるであろう。階級が消滅すれば、独裁は不必要となるであろう。階級は、プロレタリアートの独

裁なしには消滅しないであろう。

階級はのこったが、プロレタリアートの独裁の時期には、どの階級も変形をとげた。階級間の相互関係も変った。プロレタリアートの独裁のもとでは、階級闘争は消滅しないで別の諸形態をとるだけである。

プロレタリアートは、資本主義のもとでは、被抑圧階級であり、生産手段の所有をいっさいうばわれた階級であり、ただ一つ直接に、完全にブルジョアジーに対立し、それだからただ一つ最後まで革命的でありえた階級であった。プロレタリアートは、ブルジョアジーをたおし、政治権力を獲得して、支配階級となった。彼らは、国家権力をその手に維持し、すでに社会化された生産手段を処理し、動揺的な中間分子と階級を指導し、搾取者の増大した反抗力を鎮圧している。これはすべて、階級闘争の特殊な任務であり、以前にはプロレタリアートが提起しなかったし、提起することもできなかった任務である。

搾取者、地主と資本家の階級は、プロレタリアートの独裁のもとでも消滅しなかったし、また一挙に消滅することはできない。搾取者は、打ちやぶられたが絶滅されてはいない。彼らには、国際的な基盤が、国際資本がのこっており、彼らはこの国際資本の一支店である。彼らには、部分的にくらかの生産手段がのこっており、金がのこっており、巨大な社会的つながりがのこっている。彼らの反抗力は、まさに彼らが敗北したため、百倍にも千倍にも増大した。

国家行政や、軍事行政や、経済行政の「技術」は、彼らにきわめて、きわめて大きい優越をあたえており、そのために彼らの意義は、人口総数のうちに彼らが占める割合とは比べものにならないほど大きい。たおされた搾取者と、勝利した彼搾取者の前衛すなわちプロレタリアートとの階級闘争は、はるかに激しいものになった。そして、革命を論じるとき、「革命という」この概念を（第二インタナショナルの英雄たちがみなやっているように）改良主義的幻想とすりかえないかぎり、これ以外ではありえないのである。【レーニン全集三十巻 102〜3頁】

ソ連・東欧社会の経済制裁の原因は、敵（資本主義体制）の経済制裁、思想攻撃、NGO・NPOをつかった反革命的攻撃である。（つづく 伊勢 太郎）

## 恐怖政治と恐怖管理

### ― 新幹線「トイレ事件」 ―

#### 新幹線運転士が運転中にトイレへ、運転台を離れる

6月10日読売新聞（オンライン）、JR東海の看板、JR東海の金子楨社長は9日の定例記者会見で「本来は指令と打合せするべき（運転士が）勝手なことをしたのが一番の問題だとの見解を示した。」と書かれています。

また、6月8日配信、東洋経済。記者（中島みなみ）が、新幹線の乗務経験と総合指令所での運行管理経験を持つベテラン社員Aさんに問題を聞いた、としてAさんの考えを載せています。

Aさんは、トイレ衝動に襲われた運転士に同情的だった。だが、今回のことに限ると理解しがたいことがあると話し出す。「状況から考えると、どうして小田原駅の停車中に用を足したいと指令に言わなかったのかということですか。」「もし熱海で止めると後続列車が詰まるが、小田原の停車中に用を足していたら、後続列車は本線を通過するわけです。そういうことを考慮すれば、あの状況からして止めるなら小田原で、体調が悪いのでトイレに行かないと運転できませんと指令に言えば、小田原の停車中

にトイレに行くことが可能だった」と述べています。

Aさんの発言内容を整理するために、この運転士の列車を説明すれば、5月16日、東京駅を7時33分に発車した「ひかり633号」、品川、新横浜、小田原、名古屋、岐阜羽島、米原、京都に停車し、新大阪に10時27分に到着予定だった。小田原の発車前にトイレ衝動が起きたのなら、小田原でトイレに行くべきであった、と言っています。

### なぜ起きる

私は、1981年に東海道新幹線運転士に合格してから、退職する2018年まで運転士職として乗務していました。その間の7年間は運転業務から離れていました。組合差別による免許はく奪6年間、仕事ミスにより1年間です。私の経験からして言えることは「指令の許可を得る」行動は、現実的に無理と言いたい。トイレのために、臨時停車したり、緊急停止することのプレッシャーは大変なものである。その本質を明らかにしたい。

中島記者は言う、「定時運行のプレッシャーがかかる中で、在来線に比べて駅間は長く、トイレ衝動は容易に解消しがたい。運転中に腹痛を感じた運転士が、こらえきれずに熱海―三島間で席を離れ、客室のトイレで用をたしたのは3分。その間、運転席に座った車掌は無資格だったことが事後に発覚した。他人事だと自己管理や緊張感が足りないと片づけてしまいがちなトイレ問題は、JR東海を揺るがすことになった。」と。

Aさんの言うように「理解できない」ことがなぜ起きるのか。社長が言う「勝手なことをした」行為がなぜ起きるのか。この問いに答える前に、やはり、現代社会（資本主義）における「合理化」の視点でこの出来事について指摘したい。

### 一人乗務

**人減らし合理化** この問題の本質は、運転士の人間性を否定している、一人乗務という人減らし合理化である。

新幹線運転士は、国鉄時代の0系時、ひかり号は運転士2名体制、こだま号は運転士1名に、走行検査係（車両故障対応者）1名が乗務していた。

新幹線の近代化、新車両の開発により、300系から運転士一人乗務体制となり、「効率化」の名のもと、運転士が車掌も兼ねる（兼掌化）が導入されてきた。

企業の利潤追求の最たるものが「人減らし」である。その犠牲は、常に働く者が負うこととなる。

会社は考える、どうしたら人を減らせるかと。超高速運転の新幹線運転士とて同じである。

① そうだ、新幹線のシステムの近代化を図ることで、運転士2人から1人乗務させればいいんだ。

② 余った運転士をどうする。そうだ、車掌の業務もできる制度にして、3人いる車掌の一人を「運転士の車掌」に任せれば車掌職の要員を減らせる。

③ まてよ、車掌長もいるな、ここがネックだな。減らせないよね。そうだ、運転士

の名称を「列車長」にして車掌長代行させれば、運転士が車掌長の職務ができる。そうならば、もつと車掌職の人を減らすことができる。

④まだまだ足りない、もつと乗務員を減らせないかな。そうだ、車掌の端末機械を近代化し、車内改札を省略すれば3人の車掌はいらない。二人で十分業務出来る。グリーン車の改札をパーサーにやってもらえば十分だ。いいぞ。

⑤余った車掌をどうするか、今、仕事ができついでと言つて車内販売（パーサー）が辞めていつている。車掌に販売業務させればいいんだ。出向だ。とりあえず、この要員削減の制度を徹底させる。これが歴史の流れだ。

我々会社は頭がいいね。運転士免許をもっている車掌、列車長を乗務させれば、運転中に運転士に異常があれば代行させられる。（車掌職800人のうち500人が運転士の資格がある）。車内販売員に車掌経験者を乗務させれば、車掌業務の不足なり、車内での異常に対応できる。まさに、一石二鳥だ、と高笑いしている会社の姿が浮かぶ。

乗務員職場の現状は、会社の施策通りに進んできている。利潤追求は、「運転士を人間として扱う」ことを根本から否定している。これが、現代社会、資本主義的合理化の本質である。

**人間性の否定** 今回の運転士がトイレに行くために席を離れた問題は、「生理的現象という人間性」を否定し続ける会社の施策が引き起こしたものである。運転士二人乗務を一人乗務にしたついでである。

トイレの問題だけではない。過去にも、米原―京都間で運転士が意識不明の状態になり、新幹線は、惰行運転を続け、速度低下で遅れが発生し、指令の指示で車掌が運転台に駆けつけ、状況を知ることとなった。

会社は「安全第一」と口では言う。しかし、会社の合理化施策は、不安全な要因を拡大させている、と言えないだろうか。

### 列車停止はできるか

「指令と打ち合わせ」して列車を停止させればよかった、との社長とAさんの発言に反論する。「指令に連絡できない。許可をもらう行為ができない」。その裏にあるものが、何かを暴く。

**福知山線脱線事件** 過去の事例を検証していただきたい。JR福知山線脱線事件の本質は何だったのか。当時、私も運転士として新幹線に乗務していた時期である。乗務員職場は、新幹線、在来線、東海、西日本問わずに、異常な、厳しい締め付けが強行されていた。今でもそうだが、列車遅延、停止位置不良を起こせば、数日間、隔離された状態で、異常な責任追及が行われ、犯罪者扱いとされる。数年は運転できない。日常的に恐怖指導が行われていることから、言葉に出ない「恐怖心で乗務していた」。

福知山線事故は、制限速度オーバーで脱線して107名の尊い命がなくなつた。なぜ速度オーバーしたのか。事故現場直前の伊丹駅でオーバーランしてしまい、運転士が列車の遅延を回復したため、にむちやな運転をしたともみられている。当時のアーバンネットワークのダイヤは、他社に対抗し、少しでも早く運転するために秒刻み

のダイヤ構成だった。そんなプレッシャーの中で運転士たちは、少したりとも遅れを出すことはできないと気を張っていたことだろう。運転士は、停止位置不良を発生させた。所定停止位置への移動で、列車遅延が発生する。恐怖がよぎる。異常な責任追及を目のあたりにしている若い運転士は、想像するに、まともな精神状態ではなかったと思う。

運転士が無謀な速度超過をした背景として、JR西日本の「日勤教育」が連日ニュースなどで取り上げられた。日勤教育は本来、事故再発防止を目的とした教育制度だったのが、実際には、トイレ掃除を命じられたり、暴言を浴びせられたりするなど、見せしめともいえる懲罰的な教育になっていったことが問題となった。この運転士も、過去に日勤教育を受けている。再度、日勤教育を受けなければならないという恐怖心が、彼に異常運転をさせてしまった可能性も語られた。

**新幹線「帽子」事件** 大井基地から回送列車を東京駅まで運転中に、制帽がないことに気づく。このまま、帽子がないまま運転していたことがわかったら、厳しい責任追及が待っていることを肌で感じ、恐怖心に襲われる。16号車運転席を離れて、1号車運転席に忘れたいと思い取りに行く（往復の距離800メートル）。列車は速度が低下して、列車遅延が発生させた。発見できないまま東京駅に到着して、16号車洗面台に置き忘れたことがわかった。この内容は、会社のマスコミ告発により大々的に報道された。社会的制裁を受けた運転士は、厳しい責任追及を毎日受け続け、整備会社への出向となり、それ以降、運転士に復帰しないで定年退職をした。

想像できない締め付けが連日現場では行われていた。帽子一つをとっても異常であった。事例をあげるなら、乗務前に帽子をとり、乗場の椅子に置いて、トイレに行つて帰ってくると帽子がない。必死に帽子を探すも見つからない。「やられた」と思う。そうこうしていると、会社の呼び出しがあり、「この帽子はあなたのですね。一時紛失ですので、状況報告、今後、紛失しない対策を書いてもらいます。」となる。会社が黙って持つて行って、「一時紛失」として責任追及をする。これらの行為が帽子だけでなく、日常茶飯に繰り返されている状況であった。「恐怖政治」の言葉と同じ「恐怖管理」であった。今も本質は、そう変わりはない。（現に、社長発言がものがたっている）

会社の厳しい労務管理がなければ、わざわざ、運転台を離れて探しに行くことはしない。異常な行動を起こす原因をつくっているのは、ほかでもない会社の労務管理施策である。

## J R 東海への要求

この二つのことと、今回の「運転中のトイレ衝動」は本質的に同じである。

① 「指令の許可を得る」をなぜできないのか。運転士100人聞いて、「トイレに行きたくなったら、私は必ず指令に言いますよ」と回答する人は、何人いるのだろうか。極端かもしれないが、職場の雰囲気からしていないのではないのだろうか。

なぜか、トイレに行くために「指令報告して臨時停車の許可をもらおう」行為は、その後の会社側による、日常生活の詳細な調査作成が想像できる。そして、一度やった後のその後の乗務のプレッシャーは計り知れないものとなる。（2回目はもうゆるさ

れない) 会社からこの行為に対して「一切の調書も責任追及もない」との話は聞いたことがない。

会社が言う言葉は「指令の指示を受けること」、その基本的な話だけである。

② 私も経験しているが、生理的現象は、いつ、どこで襲ってくるかわからない。乗務前に何でもなかったのに、運転台に乗務した途端に行きたくなり、発車数分前だが、急いで、用を足したことは多くある。多くの運転士が経験している。のぞみ号は、新横浜駅を出発すれば名古屋駅まで止まらず、名古屋駅では1分30秒の停車時間、トイレに行けない。次の京都駅も1分30秒停車、トイレに行けない。新大阪停車でJR西日本の運転士と乗り継ぎ、「ごめん、トイレに行きたい」と言つて、ホームにある乗務員のトイレに駆け込む。何回あったことか。必死に我慢しながらの乗務は誰もが経験している。

③ JR東海社長に言いたい「本来は指令と打合せするべき(運転士が)勝手なことをしたのが一番の問題だ」との見解を示しましたね。新幹線は、一日どのくらいの本数が走ってますか。今までにトイレに行くために臨時停車なり、緊急停車した件数を明らかにしていただきたい。運転士からのぞみ号で走行中にトイレ要請を受けた件数を明らかにしていただきたい。

非常時用簡易トイレを乗務カバンに持ち歩く運転士の存在を知っていますか。私の後輩も持ち歩いていると話していたが、女子の運転士が多くなってきている現在、様々な苦勞をしていることと思う。どう対処しているかは、なかなか話しづらい現実がある。

JR東海の幹部の皆さんへ、あなた方は、いつでもトイレに行ける環境の中で生活しているから、社長のような発言で、すべての責任を運転士におしつけていますが、「安全第一」を本気で思うならば、運転士乗り組みを2名体制とすること。それまでの対応として、トイレ要請に対しては、一切の事情聴取はしない。現場の管理職が、この行為にクレームを付けたら、この管理職を罰する、等の通達を早々にマスコミを通じて発していただきたい。

### 「乗務員疾病の規定」?

最後に、Aさんが「この件の大前提として、乗務員のルール違反。臨時停車をかけることができたのです。」と、そして「乗務員疾病の規定もある」と書かれています。今更ですが、「乗務員疾病の規定」何ですか。その内容を、そのような言葉を聞いたことがありませんよ。多くの乗務員が知らないのでは。

私の経験ですが、名古屋最終列車運転中、高熱を感じたため、車掌に氷をもつてきてもらった。最終列車を臨時停車させられますか、乗客の怒りの声、顔が浮かびます。乗務員は無理しても目的地に定時運転する。この気持ちで誰もが運転しています。何か事故でもあったら、その責任はとれますか、と言われそうですが、素直に指令に言えない職場の環境こそが、その原因をつくっていることだけは、あなたもおわかりでしょう。

ちなみに、名古屋駅に定時到着して、そのまま病院へ、数日間の入院となりましたがね。

(蓑輪 泰臣)

## 運転開始から40年超の美浜原発3号機再稼働へ

美浜、高浜3機の老朽原発のうちまずは美浜で

関電は運転開始から40年を超えた美浜原発3号機を6月下旬に再稼働させると発表した。東電福島第一原発事故後に、40年超の老朽原発再稼働は最初となる。

しかし原発に義務付けられたテロ対策施設の建設が遅れているため、当面の稼働期間は4か月程度となる。

高浜1、2号機も40年超の老朽原発だが、テロ対策施設の設置や安全対策工事が遅れているため、当面再稼働は延期して、美浜3号機で正面突破する算段である。

### 原子炉の脆性遷移温度のシフト

中性子照射による原子炉本体（压力容器）の脆化は、設計者や科学者の当初の予想を超えて、深刻に進行している。かつては資源エネルギー庁が、資料請求に対して脆性遷移温度などを公表していた。

拙著『日本型社会主義と脱原発』（十月社）の128頁を参照されたい。ここには1988年7月当時のすべて（15機）の加圧水型原発の監視試験片テストの結果が表に整理されている。

ここで「脆性遷移温度」とは、これより高い温度域では原子炉の鋼材が十分な強度を持っているが、これより低い温度域では粘り気を失い脆くなっていることを示すものである。

新しいうちはかなり低い温度まで粘り気をもっているが、稼働により中性子照射を受けるほどに、脆性遷移温度はシフトし、より高い温度でも粘り気を失ってしまう。同一規格の材料であっても組成のほんのわずかな違い、不純物の違いや照射量などによって、初期値もシフトの速度も違ってくるので、各炉の実情を把握するためには、それぞれの母体から取ったテストピース（監視試験片）を炉内にいれておき、定期点検時のおりなどに取り出して、破壊試験により脆性遷移温度を見る以外に方法はない。

### 3機の脆化の進行は？

表で美浜3号機の脆性遷移温度を見ると、1976年12月の初期値がマイナス20℃だったものが、約10年後の1987年2月にはすでに+22℃に跳ね上がってしまったている。10年で42℃の上昇である。2011年3月の東電福島の重大事故時まで稼働していたのだから、その24年の間に果たしてどこまで跳ね上がっているのだろうか？すでに60℃や80℃や100℃を超えていても不思議はない。

高浜1号機は10年足らずの稼働で1984年2月の54℃まではね上がっていたのだから、2011年3月までの稼働で80℃や100℃を超えていそうである。ましてや今から20年超過運転となると100℃を大きく超えるであろう。

高浜2号機を見ると、1975年11月の初期値マイナス30℃から、1986年4月には11℃になって、10年間で40度以上も上がっているのだから、25年後の2011年3月にはどこまで上がったことだろう。

### 原子炉本体の爆発の危険性

加圧水型では炉（圧力容器）内の平常の水温は300℃以上なので、これらの炉材も十分な粘り気を持っている。しかし蒸気発生器の細管が破断したり、スリーマイル島事故時のように圧力調整弁が故障したりして、炉内の水が抜けていくような場合、炉心の燃料棒が溶融するのを防ぐために緊急炉心冷却系の20〜30℃の水が注入される。すると炉内の圧力はまだ高いままで、この冷たい水が炉内に入って最初に触れる炉壁部分は、大変な熱衝撃を受けるばかりでなく、100℃以下はもとより、60℃や50℃以下に低下して脆性遷移温度以下になる恐れが大きい。

もしそこに小さなひび割れ等の欠陥があれば、たちまち亀裂が拡大して原子炉が破裂する事態が起こりうる。これは米原子力規制委員会（NRC）の委託によるオークリッジ国立研究所の研究でも明らかにされたところである。脆性破壊のひび割れの進行速度は1秒間に1メートル以上にも及ぶ。原子炉の脆性破壊は福島第一原発の大事故以上の悲劇的な大事故に進展する恐れが大きいのである。

炉壁はテストピース以上に脆化していることも懸念される。150気圧で運転していると、1平方メートル当たり1500トンもの圧力が加わって、炉壁には大きな張力が働いている。テストピースにはこの張力は少しもかからない。

さらに問題なのは炉壁の溶接部だ。そこには応力が集中するばかりでなく、銅などの不純物も集まりやすいし、その上、炉内で発生する水素が溶接部に侵入して水素脆化を進行させる。テストピースはこれらの複合作用にも無縁である。

40年で設計したはずの原発を、さらに20年稼働させるとなると、このような大事故を発生させる確率が極めて高くなる。

独占資本の目先の利潤のために、このようなことが許されてよいはずがない。

稲村守さんをはじめ全国の仲間が執拗に展開している原発再稼働を許さない闘いは、このような事態を防ぎ、人々の命を守る崇高な闘いである。（原 野人）

## 日本初 老朽原発 再稼働強行・美浜3号機 命の発露の 6・23 美浜現地緊急全国集会

福島を見よ！ 何も解決していない！

政府自身が決めた「40年廃炉」の約束破り、  
日本で40年ごえ老朽原発再稼働の走りとなる、  
関電若狭美浜原発3号機の再稼働（44年超）が  
2021年6月23日 午前10時 強行された。

集会のスタート、初夏快晴、美浜町役場南の「はあとぴあ」、  
「管理」した集会を目指す福井県警の「警備」のなか 集会は始まった。  
原発いらぬ福島の人たちの黒田さんは、こう強烈にアピールされた。

「皆さん知ってますか、3・11以降福島では何も解決していません。  
今、季節の春野菜も食べられないんです。汚染水を政府は放出を決めました。  
これに、福島原発立地近辺の土地所有者は、タンクを作るために『自分の土地を  
提供する』とまで言っています。技術はあるんです。石油備蓄のタンクの技術が。

なのに、東電と国は全く無視です。金がかかるのでやろうとしない。何一つ解決してない今の福島を知ったなら、再稼働できるものではない。有り得ない。」

四国電力も原発運転60運転計画を発表。人の命、なにをかいわんやである。

「はあとびあ」から関電原子力事業本部までデモ行進。シュプレヒコールのあと、申し入れ。場所を移動し美浜原発3号原子炉が海の向こうに見えるシーパーク丹生。再度全体集会。主催の「老朽原発うごかすな！ 実行委員会」の 木原壮林さんは、「国内唯一の老朽原発再稼働、今日の行動は歴史的な闘いだ。日本の原発運動が、資本や警察に負けないことを示すのが日本の運動の任務だ」と、その意義を語った。

きょうとユニオン服部恭子書記長(ユニオンネットワーク京都事務局) や釜ヶ崎日雇い労組・三浦副委員長など次々発言。その後ゲート前を通過してのデモ行進。特に今回、関西・福井・北陸・四国・東京・福島等350人、命の発露の抗議行動となった。関金(関西電力抗議金曜) 行動450回目を迎える脱原発播磨アクション、全国から集り、全国の仲間の怒りが爆発した。「再稼働は許さん。」と。

(さいなら原発・びわこネットワーク 井沢 清)

## 米合衆国守備の東洋の盾になれ！

### オリエントシールド21強行

―あいば野で迫撃砲がまたもや演習場外に飛来―

6月27日、滋賀県湖西・高島市今津町住吉公園で「先制攻撃の日米合同軍事演習反対！ 憲法改悪阻止！ 6・27あいば野集会」が開催され、近畿一円からコロナ感染対策の下、市民・労働者・学生が参加した。これは、日米合同軍事演習「オリエントシールド21」の全国7か所の一つとして今月24日からあいば野演習場で強行されている演習中止を求めて、「フォーラム平和関西ブロック」と市民団体「2021あいば野に平和を！ 近畿ネットワーク」の共催で行ったものである。

6月18日より7月11日にかけて、あいば野演習場を含む日本国内7か所の陸上自衛隊と米軍の施設を使用して(こ)饗庭野演習場・滋賀以外に、矢白別演習場・北海道、明野駐屯地・三重、米軍経ヶ岬と自衛隊基地・京都、伊丹駐屯地・兵庫、奄美駐屯地・鹿児島)、強行展開されている。米陸軍1600人、陸自1400人、総勢3000人という過去最大規模のものである。あいば野では18回目の合同軍事演習となる。「東洋の盾」になれと、従来の陸海空に加え、サイバー・電磁波・宇宙の各領域での、日米双方の連携強化目的があるという。また告知期間がかつては半年から少なくとも一ヶ月はあったのに、今回は1週間前で、そのことを三日月大造滋賀県知事は批判していた。

集会前に代表者で、陸上自衛隊今津駐屯地を訪問し、日米合同軍事演習中止の申し入れ書を、指令室職務室・三谷智美室長に文書全文読み上げ手渡した。

集会は滋賀県民平和・人権運動センター・佐賀春樹事務局長(自治労滋賀県本委員長)の司会で進行され、主催挨拶を「フォーラム平和関西ブロック」西川徹二議長と、

「2021あいは野に平和を！ 近畿ネットワーク」野坂昭生代表が行った。野坂代表は「6月23日あいは野演習場からの120ミリ迫撃砲の1発が境界を越え1キロ離れた木をえぐった。これであいは野での陸自の誤射は6年で4度目となり、『またか』と市民は恐れおののいている。実弾演習中止だけでなく、日米合同軍事演習を即刻停止し、徹底究明をはかれ」と挨拶。

連帯挨拶でフォーラム平和・人権・環境の近藤賢事務局次長、米軍基地建設を憂う宇川有志の会の京丹後・永井友昭市議は「国会期末ぎりぎりで行って強行採決した重要土地利用規制法は毎日京丹後米軍Xバンドレーダー基地を視察に行ってブログにアップしている私を不当逮捕する法律だ。最も海側で米軍基地と自衛隊駐屯地が重なっており、米軍は自衛隊のカギを有して自由に出入りできるが逆はない。これこそ今の『日米軍事一体化』の実態を象徴している」と挨拶。

続いて沖繩平和センター・山城博治議長や嘉田由紀子参議のメッセージ紹介、内海義夫滋賀県教組委員長と中北龍太郎・しないさせない戦争協力・関西ネットワーク共同代表の決意表明、集会宣言採択し、市内2キロをデモ行進。日米合同軍事演習中止で「高島市民の安全・安心を取り戻そう」「重要土地調査規制法を廃止しよう」「若者を戦場に送るな」「憲法9条の改悪を阻止しよう」とシュプレヒコールで訴えた。

翌朝、「京都」「中日」「毎日」「読売」各紙は「日米合同訓練反対集会とデモ行進」を写真入りで報じ、私たちが応援し今春二度目当選を果たした現地無所属市民派の高島市のは永宙議員からは「徹底的事故調査と即時中止を求めます」との連帯メールが届いた。

「一般の120ミリ迫撃砲弾の誤射・演習場外着弾事案に徹底抗議します。この6年間に実に4度目の演習場外への着弾であり、事故のたびに繰り返し説明されてきた『安全対策』は、いったい何だったのか？ 今回は人に関わる被害は無かったものの、砲弾は国道を飛び越え、国道での工事現場事務所からわずかに70mくらいの場所に着弾しており、今回被害が無かったのは、本当に偶然の産物に過ぎません。演習場周辺に暮らす人の安全を軽視しているとしか考えられません。今回の事故はもちろん、これまでの事故・そしてその対策も含め、現実はどうだったのかを第三者をいれたかたちで徹底的な事故調査を行うよう強く求めるとともに、日米合同訓練の即時中止を求めます。」と。(2021あいは野に平和を！ 近畿ネットワーク事務局長 稲村守)

#### ◇信州松本通信◇

### マルクス の 「告白」 より

好きなヒロイン、グレートヒエンによる音楽散歩

#### (一) 『モールと将軍』に目を通しながら

大月書店の『マルクス・エンゲルス全集』が完結したとき、「完結記念版・非売品」として刊行された『モールと将軍——マルクスIIエンゲルスの回想——』があります。(非売品刊行の1967年3月から遅れること7ヶ月、10月には『モールと将軍』は二冊の国民文庫版として刊行されています。)

『モールと将軍』、モールとはマルクス、将軍とはエンゲルスの親しい友人達の間での、あだ名であります。

マルクスのモールはムーア人のことで、そうした顔つきをしていたということですが。エンゲルスは青年時代に志願兵として軍隊の経験があります。また、1848〜1849年にはドイツ革命に参加し、プファルツがバーデンと共に、憲法擁護の政戦を起した時、司令官ヴィリヒの副官として、民兵を率いてプロイセン帝国軍と対峙した経験もついていますし、軍事理論に多大な関心を持っていました。

『モールと将軍』は、人類の歴史を単なる物語ではなく、この歴史に科学としての地位を与え、これを歴史科学として学問の対象にした二人の偉大なる先達について、リープクネヒト、ベール、メーリング、ラファルグ等の同志諸氏に加え、マルクスの二人の娘たち、かのクーゲルマンの娘のフランティスカ等が、彼らの人となりや思い出、そして業績等を記したものを集めた書籍です。これらは、マルクス、エンゲルスの理論的遺産を理解する手助けにもなりますし、理論的著作を勉強する時の著休めにもなりますので、是非手許においておきたい文献です。

マルクス・エンゲルスには『モールと将軍』があるように、日本のマルクス向坂逸郎先生には『道は一筋——向坂逸郎を語る——』があります。

## (二) 『モールと将軍』におけるマルクスの「告白」

『モールと将軍』の末尾には、マルクスとエンゲルスの「告白」なるものが掲載されています。

マルクスの「告白」の全文は次のようなものです。(中澤註——向坂逸郎著『マルクス伝』23〜24頁の「告白」によらせてもらいます。『モールと将軍』の「告白」とは訳文が若干異なります。)

告白

カール・マルクス

あなたの好きな美德——素朴

あなたの好きな男の美德——強さ

あなたの好きな女の美德——弱さ

あなたの主な性質——努力の持続

あなたの幸福感——たたかうこと

あなたの不幸観——屈従

あなたがいちばん大目にみてやりたい悪徳——軽信

あなたがいちばんきらいな悪徳——卑屈

あなたのきらいなもの——マーティン・タツパー ※

あなたの好きな仕事——本の虫になること

あなたの好きな詩人——シェイクスピア、アイスキュロス、ゲーテ

あなたの好きな散文家——デイドロ

あなたの好きなヒーロー——スパルタクス、ケブラー

あなたの好きなヒロイン——グレートヒエン

あなたの好きな花——月桂樹

あなたの好きな色——赤

あなたの好きな名前——ローラ、ジェニー

あなたの好きな料理——魚

あなたの好きな格言——およそ人間的なもので私に無縁なものはない

あなたの好きな標語——すべてをうたがえ

※一九世紀の五〇年代に人気であったイギリスの作家（一八一〇～一八八九）

このマルクスの「告白」について、向坂逸郎先生は、「これは、娘たちの質問に面白半分に返答したものであるから、すべての返答をそのまま受取るわけにもいかないが、そのために却って本当の心が出ているともいえる。」（『マルクス伝』24頁）と、記しています。

### （三）マルクスにとってのヒロインであるグレートヒエン

「告白」のなかで、マルクスは好きなヒロインとして「グレートヒエン」を挙げています。また、好きな詩人として、シェイクスピア、アイスキュロスに続いてゲーテを挙げています。

さて、歌曲王シューベルトには、「糸をつむぐグレートヒエン」というゲーテの詩に由来する一曲があり、歌曲好きな人には知られた名曲です。

また、リストには「ファウスト交響曲——三人の人物描写による——」という三楽章からなる名作があります。三人とは、まずファウスト、次にグレートヒエン、最後にメフィストフェレスと、三楽章構成になっています。

ところで、若き19歳のリストに、ゲーテの『ファウスト』を読むように奨めたのは、当時27歳のベルリオーズでした。しかもその日はベルリオーズの傑作「幻想交響曲」の初演の前日だったということですから、1830年12月4日ということになります。

ベルリオーズは「ファウストの劫罰」（1846年）を作曲、後年出版に当たってはこれをリストに献呈し、これに触発されたリストは「ファウスト交響曲」を仕上げたと言います。

「第二楽章 グレートヒエン」は、グレートヒエンの愛らしさやいじらしい性格が描写されているといえます。女性的なるものにたいする情熱と賛美を、リストは二つの主題で表現しようとしたのだそうです。

### （四）『空想より科学へ』や『資本論』に登場するメフィストフェレス

社会主義を標榜する人、現代社会の日々の現象や自身の生活に不安を感じる人、こうした人達の必読書は、何と言っても『空想より科学へ』だと思います。そして、このなかにもメフィストフェレスは登場します。

「今の社会制度は不合理で不正だといったり、条理は通らないといったり、善意が非難の種となった」（岩波文庫版65頁）の【註】として、「ゲーテ『ファウスト』第一部書齋の場、メフィストフェレスの言葉。岩波文庫版、一三二ページ。」とあります。また、『資本論』（岩波文庫版125頁）には、

「まさに概念の欠けているところに、

言葉がうまく間に合うようにやってくるものなのだ」（ゲーテ『ファウスト』第一部「相良守峯訳、岩波文庫版、一三三ページ」から）、とあります。

『資本論』は「商品とは何か」に始まり、価値、貨幣、資本というように進展してゆきます。「第一章 商品」を読み始めますと、回りくどいように言葉の概念なり定義が展開されますから、言葉の遊びのように感ずる人も多いのではないかと続きます。が、こうした言葉の概念なり定義が重要なのだと、マルクスは言っているのです。

マルクスやエンゲルスの作品については、唯物弁証法という彼らによって新たに創設された世界観によって裏付けられた、そして、人類史上初めて自然と人間社会を統一的に理解することをやったのけたのですから、言葉の概念なり定義の共有がなければ、討論も論争もかみ合わないのです。

#### (五) おわりに

『資本論』は勿論、入門書と言われる『空想より科学へ』にしても、なかなか重い、へビーな著作であることにかわりありません。これらの著作の最大の解説書は、なんと言っても向坂逸郎著『マルクス伝』に違いありません。そして、この『マルクス伝』も簡単にはゆきません。

そこで、こうした読書には休みが必要です。一休みする時に、箸休めの時に、こうした著作に登場する音楽、絵画等の美術品、その周辺を散策したり散歩したりしますと、良い休憩タイムになるだけでなく、実は、こうした著作の理解にもつながるのだと思っています。

それにしても、マルクスやエンゲルスの頭は、どんな構造だったのでしょうか。「告白」のなかで、マルクスは、「あなたの好きな仕事——本の虫になること」とあります。『資本論』での引用文の多さには唯々驚嘆してしまいます。引用されているシェイクスピア、あるいはゲーテのそれを研究対象にしても、相当なライフワークになるでしょう。

私も、高校・大学と、本との付き合い方を指導してくれた何人かの恩師がいます。

(2021年6月27日 信州松本マルクスと周辺散策係員 中澤 秀行)

#### ◇ 読者からのおたより ◇

**凍霜害被害は深刻** 思い出の郵便ポストNo.181(7月1日付)は、長野市松代山本建材店前の丸型郵便ポストです。さて、りんごの凍霜害被害は深刻な状況。今は毎日摘果作業で、中心花が結実していない他、味も保存もかわらずですが、「サビ果」が沢山あります。梅雨の中の仕事は大変！  
国家総動員体制の「ワクチン接種」。いよいよ解散。少しでも生活に沿った政治を望みます。

東京オリンピックはないと思った まぼろしの切手買ったけど・・・ (長野県飯綱町 山浦隆芳)

**逆らい辛い** コロナ感染拡大でもオリンピックを強行し、この「国難」を乗り越えるため新技術を導入した遺伝子ワクチン接種を国民みんなに迫っている。製薬メーカーは副作用の責任を負わないと明言するなか、厚労省は2021年2月「国の予防接種健康被害者救済制度で、死亡一時金4千420万円が支払われる」と公表。7月7日の専門部会は「7月2日までの死亡者554人、その中の1人に対し「ワクチンが誘因となった可能性が否定できない。直接的な関連性は不明」と報告。

通常、新しいワクチン候補は、研究者手から有効性と安全性が確認され各国政府に承認されるまで5〜10年かかるが、今回の場合は開発から1年未満で承認。第三相試験(臨床試験)の最終段階を終えていない。「健康な人たち」を主たる対象とし、基礎疾患のある人や、虚弱な高齢者では殆ど試されていないという。しかも、「ワクチン成分の設計図となる遺伝子を接種し、遺伝子を取り込まれたヒトの免疫担当細胞にワクチンとなる物質を産生させ免疫システムを活性化させる方法(核酸ワクチン)」、この核酸ワクチンは現在の遺伝子操作技術で大量生産ができるとして、政府も資本も大歓迎だが、これが免疫のバランスを崩壊させ、「自己免疫疾患の発症リスクも？」等の指摘多。

1977年健保国会を皮切りに、女性団体の「医療110番」運動、富士見産婦人科病院事件、総評・社会党ブロック医療調査団に加わり、その後、6年間入退院を繰り返し、政府と医師会等による営利医療・薬害の救済を垣間見てきた私、世相に逆らい辛いが接種先延し中だ。(滝野嘉津子)